



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社
コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 横内 達治

TEL 03-6628-8480

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月14日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	29,627	1.2	106	81.1	314	59.7	100	36.2
2022年3月期	29,985	7.2	566	34.2	781	92.1	73	75.9

(注) 包括利益 2023年3月期 230百万円 (32.9%) 2022年3月期 173百万円 (34.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	9.45		0.7	0.9	0.4
2022年3月期	6.94		0.5	2.3	1.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	33,841	13,980	40.7	1,294.97
2022年3月期	34,576	13,990	40.0	1,299.88

(参考) 自己資本 2023年3月期 13,762百万円 2022年3月期 13,814百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,150	383	472	6,528
2022年3月期	34	349	499	8,512

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		27.00	27.00	286	389.3	2.1
2023年3月期		0.00		27.00	27.00	286	285.8	2.1
2024年3月期(予想)		0.00		27.00	27.00		44.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,260	8.9	1,200	1,024.2	1,240	293.9	650	547.5	61.16

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	11,459,223 株	2022年3月期	11,459,223 株
期末自己株式数	2023年3月期	831,503 株	2022年3月期	831,503 株
期中平均株式数	2023年3月期	10,627,720 株	2022年3月期	10,627,799 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	14,411	4.5	305	57.3	285	59.0	27	
2022年3月期	15,090	23.0	714	22.6	696	24.8	259	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	2.60	
2022年3月期	24.46	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	30,770	12,090	39.3	1,137.62
2022年3月期	31,454	12,376	39.3	1,164.53

(参考) 自己資本 2023年3月期 12,090百万円 2022年3月期 12,376百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されるのに伴い、社会経済活動は緩やかに再開される中、個人消費はやや持ち直しの兆しが見られてまいりました。しかしながら、オミクロン株の蔓延など新型コロナウイルスの再拡大に加え、世界的な資源価格の高騰、為替の大きな変動による物価の高騰により、景気は一進一退となりました。消費マインドへの予断を許さない状況にあることから、今後とも厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような環境の中、当社グループは、従業員の健康・安全を最優先に配慮した上で、感染対策を徹底しながらも、お客様とのコミュニケーションづくりにあらためて注力するとともに、成長を持続するため各事業において、人材育成、商品力の強化、構造改革に取り組みました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、依然消費マインドが弱い状況が続くなか、人員体制の確保が厳しかったこともあり、売上の回復にいたらず、売上高は、296億27百万円（前年同期比1.2%減）となりました。営業利益は、1億6百万円（前年同期比81.1%減）となり、経常利益は為替差益等により、3億14百万円（前年同期比59.7%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益や店舗に対する減損損失の計上などもあり、1億円（前年同期比36.2%増）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

(宝飾品)

当セグメントにおいては、お客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みを強化し進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大など消費マインドが回復しきれない中、人員体制の確保が厳しかったこともあり、売上高は、248億29百万円（前年同期比2.4%減）となり、営業利益は、3億8百万円（前年同期比56.1%減）となりました。

(眼鏡)

当セグメントにおいては、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成などを強化していくことにより、売上高は、27億13百万円（前年同期比6.4%増）となり、営業利益は、新規出店に伴う販売管理費等の増加もあり、68百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

(食品販売・飲食店)

当セグメントにおいては、よりオリジナリティのある商品開発に取り組むなど、マーケットの変化に対応してまいりましたが、売上高は、20億84百万円（前年同期比4.8%増）となり、営業損益は、2億75百万円の損失（前年同期は2億25百万円の損失）となりました。

なお、当期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

事業セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	366	68	31
新規出店	9	4	3
閉店	△15	△5	△2
当期末店舗数	360	67	32

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末の345億76百万円より7億34百万円減少し、338億41百万円となりました。主な増減は、商品及び製品などの棚卸資産の増加14億46百万円と、現金及び預金の減少19億66百万円及び有形固定資産の減少1億80百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末の205億85百万円より7億24百万円減少し、198億61百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少4億65百万円、長期借入金の減少2億30百万円、退職給付に係る負債の減少1億61百万円及び未払法人税等の減少1億8百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末の139億90百万円より10百万円減少し、139億80百万円となりました。主な増減は、親会社株主に帰属する当期純利益1億円と、剰余金配当の支払2億86百万円による利益剰余金の減少であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の85億12百万円より19億83百万円減少し、65億28百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは11億50百万円のマイナス（前年同期は34百万円のプラス）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1億5百万円、減価償却費4億8百万円及び減損損失3億63百万円の資金増加と、棚卸資産の増加14億26百万円、仕入債務の減少4億80百万円、法人税等の支払額又は還付額2億37百万円及び投資有価証券売却損益1億22百万円の資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3億83百万円のマイナス（前年同期は3億49百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の回収1億69百万円の収入と、固定資産の取得4億67百万円及び敷金保証金の差入1億18百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは4億72百万円のマイナス（前年同期は4億99百万円のプラス）となりました。これは主に長期借入による収入42億90百万円と、長期借入金の返済による支出44億75百万円及び配当金の支払2億86百万円の支出によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、物価高騰などにより消費マインドへの影響は予断を許さない状況にありますが、政府の新型コロナウイルスに対する基本方針も緩和され、消費動向もより活発化してくるものと考えられます。

次年度の当社グループの通期業績予想につきましては売上高322億6千万円、損益は営業利益12億円、経常利益12億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6億5千万円を見込んでおります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当社グループの事業の地域性及び当社の株主構成並びに同業他社との比較可能性の観点から日本基準を適用することとしております。

なお、今後につきましては、これら諸条件の推移を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めてゆく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

+ (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,617	6,650
受取手形及び売掛金	2,207	2,156
商品及び製品	11,098	11,985
仕掛品	1,439	1,712
原材料及び貯蔵品	3,300	3,587
その他	337	382
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	26,999	26,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,718	2,850
減価償却累計額	△1,455	△1,789
建物及び構築物（純額）	1,263	1,060
工具、器具及び備品	1,840	1,977
減価償却累計額	△1,460	△1,624
工具、器具及び備品（純額）	380	352
土地	31	31
その他	416	529
減価償却累計額	△261	△323
その他（純額）	154	205
有形固定資産合計	1,829	1,649
無形固定資産	167	163
投資その他の資産		
投資有価証券	282	213
関係会社株式	26	36
繰延税金資産	1,429	1,530
敷金及び保証金	2,523	2,465
賃貸土地	53	53
その他	1,265	1,255
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,579	5,554
固定資産合計	7,576	7,367
資産合計	34,576	33,841

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,451	3,985
資産除去債務	-	23
1年内返済予定の長期借入金	3,983	4,027
未払金	909	1,040
未払法人税等	173	64
賞与引当金	424	397
その他	1,356	1,390
流動負債合計	11,298	10,929
固定負債		
長期借入金	6,917	6,686
役員退職慰労引当金	694	717
退職給付に係る負債	1,595	1,434
資産除去債務	74	88
その他	4	4
固定負債合計	9,286	8,931
負債合計	20,585	19,861
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	9,376	9,183
自己株式	△570	△570
株主資本合計	13,762	13,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	76
為替換算調整勘定	7	111
退職給付に係る調整累計額	△58	5
その他の包括利益累計額合計	52	193
非支配株主持分	175	217
純資産合計	13,990	13,980
負債純資産合計	34,576	33,841

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	29,985	29,627
売上原価	12,574	12,501
売上総利益	17,410	17,125
販売費及び一般管理費	16,844	17,018
営業利益	566	106
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	3	3
不動産賃貸料	3	2
受取手数料	29	28
為替差益	215	200
その他	8	10
営業外収益合計	260	251
営業外費用		
支払利息	37	37
その他	8	6
営業外費用合計	45	43
経常利益	781	314
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	-	122
受取補償金	-	2
助成金収入	213	14
固定資産受贈益	-	13
特別利益合計	213	154
特別損失		
減損損失	541	363
店舗閉鎖損失	4	-
関係会社出資金評価損	25	-
臨時休業による損失	81	-
特別損失合計	652	363
税金等調整前当期純利益	342	105
法人税、住民税及び事業税	234	137
法人税等調整額	22	△121
法人税等合計	256	15
当期純利益	85	90
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	12	△10
親会社株主に帰属する当期純利益	73	100

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	85	90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	△26
為替換算調整勘定	80	103
退職給付に係る調整額	△43	63
その他の包括利益合計	87	140
包括利益	173	230
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	161	241
非支配株主に係る包括利益	12	△10

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	9,613	△570	13,999
会計方針の変更による累積的影響額			△24		△24
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,571	3,384	9,589	△570	13,975
当期変動額					
剰余金の配当			△286		△286
親会社株主に帰属する当期純利益			73		73
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△213	△0	△213
当期末残高	1,571	3,384	9,376	△570	13,762

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	51	△72	△14	△35	144	14,108
会計方針の変更による累積的影響額						△24
会計方針の変更を反映した当期首残高	51	△72	△14	△35	144	14,084
当期変動額						
剰余金の配当						△286
親会社株主に帰属する当期純利益						73
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51	80	△43	87	31	119
当期変動額合計	51	80	△43	87	31	△94
当期末残高	102	7	△58	52	175	13,990

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	9,376	△570	13,762
当期変動額					
剰余金の配当			△286		△286
親会社株主に帰属する当期純利益			100		100
連結範囲の変動			△6		△6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	△192	-	△192
当期末残高	1,571	3,384	9,183	△570	13,569

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	102	7	△58	52	175	13,990
当期変動額						
剰余金の配当						△286
親会社株主に帰属する当期純利益						100
連結範囲の変動						△6
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△26	103	63	140	41	182
当期変動額合計	△26	103	63	140	41	△10
当期末残高	76	111	5	193	217	13,980

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	342	105
減価償却費	503	408
減損損失	541	363
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△53	△69
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	27	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△26
受取利息及び受取配当金	△3	△9
支払利息	37	37
関係会社出資金評価損益 (△は益)	25	-
固定資産除売却損益 (△は益)	-	△0
固定資産受贈益	-	△13
助成金収入	△213	△14
臨時休業による損失	81	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△14	53
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,251	△1,426
仕入債務の増減額 (△は減少)	222	△480
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△122
未払金の増減額 (△は減少)	△103	72
未払又は未収消費税等の増減額	△206	△36
その他	△11	235
小計	△79	△903
利息及び配当金の受取額	3	9
利息の支払額	△36	△37
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	16	△237
助成金の受取額	209	18
臨時休業による損失の支払額	△77	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	34	△1,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	12	158
定期預金の預入による支出	△105	△122
定期預金の払戻による収入	78	116
固定資産の取得による支出	△433	△467
敷金及び保証金の差入による支出	△64	△118
敷金及び保証金の回収による収入	228	169
非連結子会社株式の取得による支出	-	△10
保険積立金の積立による支出	△21	△21
貸付けによる支出	△3	△42
その他	△41	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349	△383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	5,150	4,290
長期借入金の返済による支出	△4,363	△4,475
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△286	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー	499	△472
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	204	△1,992
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	9
現金及び現金同等物の期首残高	8,307	8,512
現金及び現金同等物の期末残高	8,512	6,528

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエステールカンボジアCO.,LTD.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に宝飾品の製造販売、眼鏡の製造販売及び食品販売・飲食店事業を営んでおります。したがって、当社は「宝飾品」、「眼鏡」及び「食品販売・飲食店事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	25,447	2,549	1,988	29,985	—	29,985
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,447	2,549	1,988	29,985	—	29,985
セグメント利益又は損失(△)	702	84	△225	561	4	566
セグメント資産	32,576	1,554	617	34,748	△172	34,576
セグメント負債	19,961	352	273	20,588	△2	20,585
その他の項目						
減価償却費	352	99	51	503	—	503
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	180	120	34	335	—	335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△172百万円及びセグメント負債の調整額△2百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	24,829	2,713	2,084	29,627	—	29,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	24,829	2,713	2,084	29,627	—	29,627
セグメント利益又は損失(△)	308	68	△275	101	5	106
セグメント資産	31,561	1,648	838	34,048	△207	33,841
セグメント負債	19,217	359	286	19,862	△1	19,861
その他の項目						
減価償却費	286	100	21	408	—	408
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	310	161	66	537	—	537

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△207百万円及びセグメント負債の調整額△1百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,299円88銭	1,294円97銭
1株当たり当期純利益金額	6円94銭	9円45銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	13,990	13,980
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	175	217
(うち非支配株主持分(百万円))	(175)	(217)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,814	13,762
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	10,627	10,627

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	73	100
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	73	100
期中平均株式数(千株)	10,627	10,627